

# 東照宮

## 八日市場を歩く

今年、徳川家康の400回忌を迎え、日光東照宮(栃木県日光市)ではその遺徳をたたえ「四百年式年大祭」の行事が5月から秋にかけて催されるという。

家康の遺骸は亡くなった翌1617年に久能山(静岡市)から日光に遷され、東照大権

現としてまつられました。全国にまつられる東照宮は、徳川家に関係する大名などが競って建立し、現在500社を超えると言われています。

市内では中央地区万町の八日市場東照宮と飯倉区(豊栄地区)にまつられています。

1614年正月に徳川家康

が九十九里地方でタカ狩りをしたとき、

タカが行方不明になってしまいました。

八日市場村医王寺の僧が祈祷したところ境内の松に降りて止まったのでこの松を

「御鷹松」と呼び、同寺の僧はこの松の根元に石の祠をまつり

東照大権現としたことが由来とされています。

1669年に八日市場村の旗本稲垣氏が領地の一部を東照大権現に寄進したとされます。

当時同村は4人の旗本が分割支配し、稲垣氏は1635年ごろに領主となっているのでこの頃にまつったのでしよう。江戸時代は医王寺(現在は廃寺)が管理し、明治になって東照大権現から東照宮に改称されました。

飯倉の東照宮は、1844年に同村の中貫集落の人たちが石の祠をまつりましたが、その由来は分かっています。『房総の東照宮』によると、平成9年時点で、県内で40社がまつられ、単独のものは旧八日市場市の2社を含め11社とされています。

1965(昭和40)年に日光東照宮に本部を置く「全国東照宮連合会」が結成され、現在47社が加盟しているそうです。

八日市場東照宮は、平成3年に市都市計画道路の拡張により現在地に移転し、県内では唯一この連合会に加盟しています。

八日市場東照宮では毎年5月に例大祭を催し、神輿渡御は初夏の風物詩といえるでしょう。

(元)市職員・依知川雅一

問 秘書課広報聴取班

☎ 73・0080



八日市場東照宮例大祭の神輿渡御(5月17日)